

桑名・員弁広域環境基本計画  
2市2町環境アクションプラン【木曾岬町】

令和7年度 年次報告書  
(令和6年度 取組実績)

令和8年3月

木曾岬町

# Contents

---

方針Ⅰ 地球をまもる 脱炭素の社会づくり .....	1
方針Ⅱ 暮らしをまもる 安心・快適なまちづくり .....	5
方針Ⅲ 自然をまもる 共生する地域づくり .....	9
方針Ⅳ みんなでまもるパートナーシップの仕組みづくり .....	13

## 本年次報告書での評価指標の「年次」の取り扱い

---

本年次報告書は、令和4年3月改定の「桑名・員弁広域環境基本計画」及び「2市2町環境アクションプラン」に基づく、計画全体の評価指標及び2市2町の進捗管理指標を評価するものです。

計画の改定は令和4年度、令和5年度に実施しており、各指標は令和5年度当時の最新年次のデータに基づくものとしています。本資料での各指標の年次を以下のように定義します。

- |          |                                |
|----------|--------------------------------|
| 【策定時点実績】 | 計画策定時点で取得可能な実績データを表記           |
| 【今回評価】   | 本年度時点で取得可能な最新年次の実績データを表記       |
| 【前回評価】   | 今回評価に対して増減を評価するための前年度の実績データを表記 |

**方針Ⅰ**  
**地球をまもる 脱炭素の社会づくり**

## 施策 I -1 創エネ・省エネの促進

取り組み① 再生可能エネルギー設備の導入を推進する			
指標① 公共施設への太陽光発電設備の設置施設数			住民課
策定時（令和4年度実績）	目指す方向性	令和5年度 実績	令和6年度 実績
3施設	施設数の増加を目指す	3施設	3施設
取り組み状況			
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 木曾岬町では、町庁舎、町庁舎駐車場、小学校の3施設に太陽光発電設備を設置しています。</li> <li>● 令和6年度については、設置した3施設での導入効果の検証を行いました。</li> <li>● 今後は、公共施設への太陽光発電設備の設置可能性の検証に向けて準備しています。</li> </ul>			
指標② 町民向けの太陽光発電設備導入補助の申請数			住民課
策定時（令和4年度実績）	目指す方向性	令和5年度 実績	令和6年度 実績
2件	設置件数の増加を目指す	3件	0件
取り組み状況			
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 住民向けの太陽光発電設備導入補助について、町独自の補助事業である木曾岬町住宅用太陽光発電システム設置費補助金を展開し、令和4年度の申請数は2件となっています。</li> <li>● 令和5年度から自家消費型太陽光発電設備の導入促進を図るため、太陽光発電設備及び蓄電池を導入する経費の補助事業（県補助金）を開始しています。</li> <li>● 令和6年度について、継続的に補助事業を実施しましたが、新たな申請がない状況でした。事業のアピール等の周知啓発方法を再検討しています。</li> </ul>			

取り組み② 創エネ・省エネにより脱炭素化を推進する			
指標① 公共施設でのエネルギー使用量（電気消費量）			住民課
策定時（令和4年度実績）	目指す方向性	令和5年度 実績	令和6年度 実績
年間 933,964kWh	使用量の減少を目指す	年間 880,457kWh	年間 878,145kWh
取り組み状況			
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 木曾町地球温暖化対策実行計画（事務事業編）に基づき、太陽光発電やLED照明等の導入、職員による照明や空調等の管理の徹底などを通じ、電気使用量の削減に向けた取組を実施しています。</li> <li>● 令和6年度について、各公共施設のLED照明の導入を丸紅新電力（株）と連携を図りながら進めるとともに、職員の環境配慮行動の意識啓発に取り組んでいます。また、荏原環境プラント（株）より、ごみ発電の地産地消を行うため、一部の公共施設の電気を「ごみ発電」に切り替える準備を進めています。</li> </ul>			
指標② 環境由来エネルギーに関する情報発信実施数			住民課
策定時（令和4年度実績）	目指す方向性	令和5年度 実績	令和6年度 実績
1件	実施数の増加を目指す	3件	4件
取り組み状況			
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 令和5年度には、町独自の太陽光発電設備の補助事業に加え、県の補助金を活用した自家消費型の太陽光発電設備等導入補助金事業、県の太陽光発電設備共同購入事業について町公式HPで情報発信を実施しました。</li> <li>● 令和6年度は太陽光発電の補助事業に加え、県の省エネ家電に関する補助事業（みえデコ活）について情報発信を実施しました。</li> </ul>			

施策Ⅰ-2 環境に配慮した行動への転換促進

取り組み③ 環境にやさしい日常生活、経済活動への転換を促す			
指標① ソウインコンポの配布数			住民課
策定時（令和4年度実績）	目指す方向性	令和5年度 実績	令和6年度 実績
200 袋	配布数の増加を目指す	200 袋	200 袋
取り組み状況			
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 木曾岬町では毎年5月に1回、庁舎玄関前においてソウインコンポを配布しています。</li> <li>● 令和6年度についても、桑名員弁広域連合と連携して確保するソウインコンポについて、確保した全数200袋を配布しました。</li> </ul>			
指標② つる性植物の苗の配布数			住民課
策定時（令和4年度実績）	目指す方向性	令和5年度 実績	令和6年度 実績
1,050 本	配布数の増加を目指す	1,050 本	1,050 本
取り組み状況			
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 木曾岬町では毎年5月に1回、庁舎玄関前においてグリーンカーテン用苗木（ゴーヤ）を配布しています。</li> <li>● 令和6年度についても、事前に確保した苗木1,050本について、希望者に対して全数を配布しました。</li> </ul>			

取り組み④ 環境に配慮した交通体系への転換を促す			
指標① 公用車の次世代自動車の導入台数			総務政策課
策定時（令和4年度実績）	目指す方向性	令和5年度 実績	令和6年度 実績
1 台	導入台数の増加を目指す	2 台	2 台
取り組み状況			
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 木曾岬町の所有する公用車20台のうち1台について、電気自動車を導入しています。</li> <li>● 令和6年度については、令和5年度に導入したハイブリッド車1台の合計2台について運用し、導入効果の検証に向けたデータを収集しています。</li> </ul>			
指標② コミュニティバスの利用者数			危機管理課
策定時（令和4年度実績）	目指す方向性	令和5年度 実績	令和6年度 実績
139,412 人	利用者数の増加を目指す	145,389 人	137,219 人
取り組み状況			
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 木曾岬町では近鉄弥富駅と町内各地を結ぶ自主運行バス（2系統）を運行しています。</li> <li>● 令和6年度については、令和5年度に引きつづき地域の実情に合わせた路線変更等を行っています。</li> </ul>			



## 方針Ⅱ

暮らしをまもる 安心・快適なまちづくり

## 施策Ⅱ-1 安心・快適な暮らしを支える環境の形成

取り組み① 暮らしを取り巻く環境変化を監視し適切に対応する			
指標① 環境保全協定の締結事業者数			住民課
策定時（令和4年度実績）	目指す方向性	令和5年度 実績	令和6年度 実績
0社	締結数の増加を目指す	0社	0社
取り組み状況			
<ul style="list-style-type: none"> <li>町内で事業活動を行う事業者に対して、適正な事業活動を確保し、生活環境や自然環境の保全に資することを目的とした環境保全条例に基づく協定の締結を検討しています。</li> <li>令和6年度について、同種の町内事業者との協定の締結の可能性を検証しましたが、現時点では協定締結の取組が最優先ではないと判断しました。</li> </ul>			
指標① 水路の水質基準を達成した地点の割合			産業課
策定時（令和4年度実績）	目指す方向性	令和5年度 実績	令和6年度 実績
3地点中 0地点達成	達成率100%を目指す	3地点中 0地点達成	3地点中 0地点
取り組み状況			
<ul style="list-style-type: none"> <li>良質な水質、生活環境の保全のため、町内の水路について定期的な水質調査を3地点で実施しています。なお、水路の水質基準は位置付けられていないため、一般的な河川の基準に基づき検証しています。</li> <li>水路については、常時流れている河川と異なり、水門の調整等により滞留する状況も多いことから、水質基準が未達成の地点も多い状況です。悪臭等の生活への影響が生じる場合に適切に流量を調整する等の対応を検討します。</li> </ul>			

取り組み② 衛生的で自然災害の不安のない住環境を形成する			
指標① 公共下水道の普及率			建設課
策定時（令和4年度実績）	目指す方向性	令和5年度 実績	令和6年度 実績
99.0%	普及率の増加を目指す	99.1%	99.1%
取り組み状況			
<ul style="list-style-type: none"> <li>木曾岬町上下水道事業経営戦略等に基づき、下水道供用区域の拡大に向けた整備を進めています。</li> <li>令和6年度は、現時点で公共下水道の設置が可能な区域については整備が完了していることから、令和5年度の時点でほぼ横ばいの状況です。今後も継続的に下水道が機能するよう、老朽化対策等も含めて取り組んでいきます。</li> </ul>			
指標② 空き家バンク利用促進（累計売買等件数／累計登録件数）			建設課
策定時（令和4年度実績）	目指す方向性	令和5年度 実績	令和6年度 実績
2件/3件 (2021年実績)	売買等件数、登録件数の増加を目指す	4件/6件	5件/9件
取り組み状況			
<ul style="list-style-type: none"> <li>木曾岬町空き家・空き地バンクによる空き家所有者と利用希望者とのマッチング等の支援などを通して、空き家の活用を推進しています。</li> <li>令和6年度についても継続的な情報発信を行い、空き家が適切に活用されるよう取り組んでいきます。</li> </ul>			

## 施策Ⅱ-2 ごみを適正に処理する仕組みの形成

取り組み③ ごみとなるものを減らす			
指標① 生ごみ処理機等購入費の補助件数			住民課
策定時（令和4年度実績）	目指す方向性	令和5年度 実績	令和6年度 実績
年間4件	件数の増加を目指す	年間8件	年間6件
取り組み状況			
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 木曾岬町では、生ごみ処理機等購入費補助金によりコンポスト用の容器の補助等を通じて、家庭からの生ごみの排出削減を行っています。</li> <li>● 令和6年度についても当該補助制度を継続して実施しています。なお、今後の新たな取組として、生ごみ処理機の貸出の仕組みをつくり、実際の使用体験を通じて普及を図る取組を検討しています。</li> </ul>			
指標② ごみ分別アプリのダウンロード件数			住民課
策定時（令和4年度実績）	目指す方向性	令和5年度 実績	令和6年度 実績
年間223件	件数の増加を目指す	年間61件	年間89件
取り組み状況			
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 木曾岬町ではごみ分別促進アプリ「さんあ〜る」を提供し、転入者向けの情報誌等を通じてダウンロードを推奨しています。当該アプリは多言語対応（英語・ポルトガル語・ベトナム語）されており、外国人居住者にも使いやすいアプリとして運用しています。</li> <li>● 令和6年度についても外国人を含む多くの町民にダウンロードいただけるよう、周知啓発を実施しました。今後、現在未対応の言語の対応を含めて必要な対策を講じていく予定です。</li> </ul>			

取り組み④ ごみを適正に処理する			
指標① 資源ごみ回収活動実施団体の登録数			住民課
策定時（令和4年度実績）	目指す方向性	令和5年度 実績	令和6年度 実績
3団体	団体数の増加を目指す	3団体	3団体
取り組み状況			
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 木曾岬町では、ごみの減量とリサイクルの推進を図るため、家庭から排出される資源ごみの回収団体に対して、回収量に応じた補助金を交付しています。</li> <li>● 令和4年度の時点で、こども会2団体、社会福祉協議会1団体の合計3団体が登録しています。</li> <li>● 令和6年度についても継続的に登録いただき、活動いただけるよう支援を行っています。</li> </ul>			
指標② 資源ごみ収集量（資源ごみ回収事業・資源ごみ回収活動実施団体）			住民課
策定時（令和4年度実績）	目指す方向性	令和5年度 実績	令和6年度 実績
192.42 t	収集量の増加を目指す	178.96 t	171.44 t
取り組み状況			
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 木曾岬町一般廃棄物処理基本計画に基づき、資源ごみ回収活動実施団体などとの協力により、資源ごみ収集を行っています。</li> <li>● 令和6年度も実施団体の協力のもと、継続的に資源ごみ回収を行っています。</li> </ul>			



**方針Ⅲ**  
**自然をまもる 共生する地域づくり**

## 施策Ⅲ-1 魅力的で質の高い自然環境の保全

取り組み① 身近な「みどり・みず」の空間を創出する			
指標① 親水空間の機能強化に関する取り組み実績			産業課
策定時（令和4年度実績）	目指す方向性	令和5年度 実績	令和6年度 実績
10回	取り組みを推進する	10回	6回
取り組み状況			
<ul style="list-style-type: none"> <li>鍋田川堤の桜並木などの親水空間を維持し、より魅力を高めるために、定期的な老木の伐採等を実施しています。</li> <li>令和6年度についても継続的に実施しています。</li> </ul>			

取り組み② 農地や林地を適正に保全する			
指標① みえ森と緑の県民税市町交付金の活用			産業課・教育委員会
策定時（令和5年度実績）	目指す方向性	令和5年度 実績	令和6年度 実績
5,367千円	交付額の全額活用を目指す	5,367千円	4,961千円
取り組み状況			
<ul style="list-style-type: none"> <li>みえ森と緑の県民税市町交付金について、その目的に照らし適切な運用を行っています。</li> <li>令和5年度の交付金5,367千円について、桜並木の保全や子どもの自然体験教室を実施し、環境保全や人づくりに交付額の全額を適切に活用しました。</li> <li>令和6年度について、桜並木の保全（薬剤散布・消毒・剪定・伐採等）において、全額を適切に活用しました。</li> <li>木曾川源流にある長野県木祖村との交流事業（森林環境教育事業、子どもの自然体験教室）を実施しておりますが、交付金の活用は、令和5年度までとなっております。令和6年度、令和7年度、令和8年度は、公益財団法人木曾三川水源地域対策基金 上下流交流事業助成金を活用しています。</li> </ul>			

## 施策Ⅲ-2 人と生き物が共生する生態系の保全

取り組み③ 在来の自然生態系を守り育む			
指標① クビアカツヤカミキリによる被害木の本数			産業課
策定時（令和4年度実績）	目指す方向性	令和5年度 実績	令和6年度 実績
144本	被害木ゼロを目指す	359本	345本
取り組み状況			
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 木曾岬町では、とくに鍋田川堤桜並木において特定外来生物に指定される「クビアカツヤカミキリ」の生息が確認され、桜、梅、桃、柿などへの虫害被害が懸念されます。</li> <li>● そのため、殺虫剤の散布や駆除や情報提供の発信等を行い、被害木を減らす取組を実施しています。</li> </ul>			
指標② みえ生物多様性パートナーシップ町内事業者数			産業課
策定時（令和4年度実績）	目指す方向性	令和5年度 実績	令和6年度 実績
0社	登録数の増加を目指す	0社	0社
取り組み状況			
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 三重県では生物多様性保全活動団体を資金面や人材面で支援するため、これらの団体と企業等とのマッチングを進めるための「みえ生物多様性パートナーシップ協定」に取り組まれています。</li> <li>● 令和6年度について、町内事業者への情報発信を行っていますが、現時点ではパートナーシップ締結につながっていない状況です。</li> </ul>			

取り組み④ 人と生き物が共生できる環境をつくる			
指標① 特定外来生物（ヌートリア、イタチ、アライグマ）の捕獲頭数			産業課
策定時（令和4年度実績）	目指す方向性	令和5年度 実績	令和6年度 実績
14頭	捕獲頭数ゼロを目指す※	33頭	23頭
取り組み状況			
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 在来生態系を脅かす特定外来生物の中で、木曾岬町ではヌートリア、イタチ、アライグマを中心に目撃情報があるため、町民等からの要請を受けて捕獲罠を設置し駆除活動に取り組んでいます。</li> <li>● 令和6年度についても継続的に駆除活動に取り組んでいます。また、現在の設備では対応が難しい大型生物の被害に対応するための大型の捕獲罠の導入など、必要な対策の検討を進めています。</li> </ul> <p>※対象とした3種の特定外来生物が減少し、捕獲行為が必要なくなる状況を目指す。発見された場合はこれまでと同様に捕獲を行う。</p>			



方針Ⅳ  
みんなでまもる  
パートナーシップの仕組みづくり

## 施策IV-1 環境学習の充実

取り組み① 環境に関する情報をまとめ発信する			
指標① イベント等を通じた環境関連情報の発信件数			住民課
策定時（令和4年度実績）	目指す方向性	令和5年度 実績	令和6年度 実績
1件	件数の増加を目指す	1件	1件
取り組み状況			
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 木曾岬町では、町民相互のふれあいの場として毎年3月の春分の日に「伸びゆく木曾岬町のふれあい広場（産業文化祭&amp;福祉健康フェスタ）」イベントを開催しています。</li> <li>● 当該イベントにおいて、生ごみ処理機の支援事業など、環境保全に資する情報発信に取り組んでいます。</li> <li>● 令和6年度についても同様の取り組みを継続しています。</li> </ul>			

取り組み② 環境学習が受けられる機会を増やす			
指標① 環境関連施設への見学実施回数			教育委員会
策定時（令和4年度実績）	目指す方向性	令和5年度 実績	令和6年度 実績
小学校 2回/校 中学校 1回/校	実施数の維持を目指す	小学校 2回/校 中学校 1回/校	小学校 2回/校 中学校 1回/校
取り組み状況			
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 木曾岬町では、町立の小学校1校、中学校1校について、木曾岬干拓地メガソーラーやリサイクルの森等の見学会を実施し、児童、生徒の再生可能エネルギー等への理解と興味関心の向上を図ります。</li> <li>● 令和6年度についても、同様の取り組みを継続しています。</li> </ul>			
指標② 環境学習の実施件数			教育委員会
策定時（令和4年度実績）	目指す方向性	令和5年度 実績	令和6年度 実績
小学校 7回/校 中学校 2回/校	実施数の維持を目指す	小学校 7回/校 中学校 2回/校	小学校 7回/校 中学校 2回/校
取り組み状況			
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 木曾岬小学校では、ごみ集積場の見学会や町職員による出前講座に加えて、木曾岬干拓地内のメガソーラー発電所や桑名広域清掃事業組合リサイクルの森の見学、ビオトープの整備や生き物観察、巨大かぼちゃ栽培、米作り体験を実施しています。</li> <li>● 木曾岬中学校では、桜堤防の清掃活動、給食の食べ残しを減らす取り組みなど、小中学校で環境学習に取り組んでいます。</li> <li>● 令和6年度についても、近年の社会情勢に合わせた教育内容の更新を行いながら、環境学習を継続しています。</li> </ul>			

## 施策Ⅳ-2 環境保全活動に参加しやすい環境づくり

取り組み③ 住民・事業者・団体等の積極的活動を支援する			
指標① 美化清掃活動のごみ袋の提供数			住民課・建設課・教育委員会
策定時（令和4年度実績）	目指す方向性	令和5年度 実績	令和6年度 実績
4,299 枚	提供数の増加を目指す	4,240 枚	4,391 枚
取り組み状況			
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 木曾岬町では、6月、12月の第1日曜日を町内一斉清掃の日と定め、全自治会に対して参加を呼び掛けるとともに、活動の支援として美化清掃活動のためのごみ袋の提供を行っています。</li> <li>● 令和6年度について、町内一斉清掃に取り組むとともに、藤里港の施設利用者による清掃活動や国土交通省 木曾川下流河川事務所が10月に実施した「川と海のクリーン大作戦」での町民の活動に対して清掃道具の貸与やごみ袋の物品支援、回収したごみ処理などの支援を行いました。</li> <li>● 中学校では、郷土に愛着を持ち、自分たちの手で環境を守ろうとする心を養うために、「学校環境デー」として郷土の名所「桜堤防」や役場周辺の清掃活動に取り組みました。</li> <li>● スポーツ少年団の団員による町内清掃ボランティア活動として、各单位団ごとに活動施設の清掃活動に取り組み、廃棄物の回収・処理を行いました。</li> </ul>			

取り組み④ 民間の力を発揮しやすい官民連携体制を構築する			
指標① 環境に関する包括協定の締結事業者数			住民課
策定時（令和4年度実績）	目指す方向性	令和5年度 実績	令和6年度 実績
0 件	締結数の増加を目指す	1 件	1 件
取り組み状況			
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 桑名市やいなべ市では、ゼロカーボンシティ実現に向けた包括連携協定の仕組みをつくり、多様な民間団体と連携する体制を構築していますが、木曾岬町ではこのような仕組みがなく、脱炭素化を軸とした官民連携の体制の構築が難しい状況です。</li> <li>● 令和5年度において、日産自動車・三重日産と「電気自動車を活用した脱炭素化及び災害に強いまちづくりに関する連携協定」を締結しました。</li> <li>● 令和6年度については、新たな協定の締結はありませんでした。</li> </ul>			



---

桑名・員弁広域環境基本計画 2市2町環境アクションプラン【木曾岬町】  
令和7年度 年次報告書（令和6年度 取組実績）

発行年 令和8年3月  
監修・発行 木曾岬町